

「出題の意図」

選抜区分	2023（令和5）年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><面接の意図・ねらい> 個別面接・口頭試問を行った。</p> <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none">・自己PRおよびその内容・理想の住宅について・人口が減少する地域に求められる建築について・気候変動が建築に与える影響 <p>について質問し、回答を求めた。 これらの質問を通じて受験生の思考力および意欲などを確認した。</p> <p>個別面接・口頭試問</p> <p>自己PRに関する出題では、どの学生も事前に回答した面接シートの内容を背景としつつも、自らの考えを整理し明快な回答をした学生と、自身を自然体でアピールすることができなかった学生に分かれた。</p> <p>理想の住宅についての質問では、ほぼ全員が集合住宅ではなく戸建て住宅を想定した回答であった。比較的答えやすい設問であったため、回答に詰まる学生は少なかったが、抽象的な表現に留まる学生が多い一方で、場所から外観から設備から構造まで非常に具体的かつ楽しそうに回答をする学生も見られた。</p> <p>人口が減少する地域に求められる建築についての質問では、空き家問題に注目をした回答が多かったが、1つ前の質問に引っ張られ、個々の住宅を前提としたものが多く、地域全体を俯瞰した回答は少なかった。面接官からそのような視点の話を再度振るなどしたところ、的確に自身の考えを述べることができた受験生と、十分に回答できなかった学生に分かれた。</p> <p>気候変動と建築についての質問では、回答に時間のかかる受験生が多く、自身の知識と考えの中でその場で答えることに苦慮している様子が伺えた。豪雨による土砂災害や、地球温暖化を背景にした回答が多かった。</p>